

部 局 経 営 方 針

平成 2 4 年度

薩摩川内市

部局名	商工観光部	部局長名	末永 隆光
-----	-------	------	-------

部局内の 経営資源	当初予算	1 7 . 1 億円		
	構成人員	職員	嘱託	計
		3 5 人	2 人	3 7 人

①部局の使命 (組織の存在価値)	商工観光部は、市内商工業の振興、市街地活性化、企業立地促進、地域公共交通の整備、川内港の物流・交流の拡大及び国際交流の促進を図るとともに、シティセールスを総合的かつ積極的に推進し、市の知名度・高感度の向上、観光交流人口の増大、物販等による外貨の獲得により、雇用の創出、市民所得の向上を図り地域経済の発展に寄与する。	②組織目標像 【施策の目標像】 (1) 中心市街地活性化対策、中小企業支援及び農商工連携などの市内商工業の活性化、企業立地等により雇用の創出や市民所得が増加している。 (2) 甑島航路、バス、鉄道、デマンド交通等地域公共交通網の充実、及び高速交通網との連携により、交流人口が増加している。 (3) 港湾整備、港湾機能の充実等により、国際コンテナ取扱量が増加し中国、韓国など複数の航路開設により川内港が南九州の国際物流拠点港湾となっている。 (4) 友好都市である中国常熟市や韓国昌寧郡との交流が活発化し、市民の海外渡航、外国人の来訪が増加している。 (5) 薩摩川内市を知っている、あるいは薩摩川内市によいイメージ、関心を持つ人が増えている。 (6) 薩摩川内市を訪れ、あるいは薩摩川内市の産品を購入して満足し、再度訪問・購入するファンやリピーターが増えている。 (7) 薩摩川内市のまちの魅力を深く理解し、愛着心や誇りを持ち、より多くのお客様にわがまちに来てもらいたいと願う市民が増えている。 【組織の目標像】 (1) 目標を持って前向きに仕事ができる組織 (2) 市民目線・お客様目線で仕事ができる組織 (3) 協調融和で仕事ができる組織
-----------------------------	--	--

平成24年度

部 局 経 営 方 針

薩摩川内市

平成24年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

③重点事項	④具体的な成果目標（めざそう値）	⑤具体的な取組内容	⑥進捗状況（年度中間）	⑧年度末の達成状況
中小企業の振興 【商工振興課】	(1) ハローワーク川内管内の年度末有効求人倍率 0.8倍以上	① 中小企業者の経営改善資金・運転資金融資に対する利子補助等による支援 ② 中小企業元気づくり補助金による製造業等への支援 ③ 創業・チャレンジ支援補助金による起業家等への支援 ④ 中小企業への国・県設備投資補助等の周知	○ ① 4月に商工会議所、商工会及び金融機関に中小企業支援制度説明会を実施 ・有効求人倍率 0.70（H24.8） ○ ② 補助実績：13件 （2,442千円） 研修 3件 製品宣伝 5件 知的財産 5件 ○ ③④ 商工会議所及び商工会で借入相談実施	
中心商店街の活性化 【商工振興課】	(1) 中心商店街空き店舗率 15%以内 (2) テナントミックス事業による誘致店舗数 5店舗	① 中心市街地活性化基本計画に基づく事業推進 ② ㈱まちづくり薩摩川内の活性化事業（定期借地権等を活用したテナントミックス事業等）の具体化支援 ③ 中心市街地大規模未利用地の活用促進	○ ① 第1回中心市街地活性化協議会開催（7月13日） ・テナントミックス事業、コミュニティFMの事業報告 ・第1回中心市街地活性化協議会幹事会の開催（9月20日） △ ② 中心市街地テナントミックス事業実施 ・情報収集 ・企業訪問 ○ ③ 情報収集	

部 局 経 営 方 針

平成 2 4 年度

薩摩川内市

農商工連携の推進 【商工振興課】	(1) 農商工連携の取り組み件数 年間 3 件以上 (2) 農商工連携セミナー等の開催 参加数 100 人	① 農商工連携関連の国県補助制度の周知 ② 農商工連携チャレンジ起業支援補助金による支援 ③ 農商工連携補助金による支援 ④ 農商工等連携セミナー等の実施	○ ① 市内の特産品コンクール参加団体 (51 団体) への制度周知及び市HP掲載 △ ② 関係課(農政課)と連携し制度の周知 ○ ③ 補助実績 2 件 ・海幸山幸推進事業 ・全国展開プロジェクト事業 薩摩川内市商工会で事業を実施中 (補助額 5,730 千円) ○ ④ 「農商工連携出合い交流会 in 薩摩川内」開催 参加者 79 人(7 月 27 日)		
新しいサービス産業の振興 【商工振興課】	(1) 買物不便地域モデル支援事業の実施 事業者 1 団体 販売箇所 40 自治会以内	① 買物不便地域を対象とした移動販売事業への支援	○ ① 地域指定 22 自治会に決定：公募開始(9 月 14 日)		
地域公共交通網の整備 【商工振興課】	(1) コミュニティバス等利用者(デマンド交通・甕島地域貸切も含む) 年間 35 万人以上 (2) コミュニティバス平均乗車人数 1 便当たり 7 人以上		(1)コミュニティバス等利用者数(4~9 月) 180,897 人(30,150 人/月) (対前年同月比 4%増) (2)コミュニティバス平均乗車人数 ・ 1 便当たり 5.1 人		

平成24年度

部 局 経 営 方 針

薩摩川内市

		① コミュニティバス（本土地域）の交通利便性向上（路線等の見直し） ② コミュニティバス（甌島地域）の交通利便性向上（利用状況の把握、路線等の見直し） ③ 入来地域デマンド交通（事前予約型乗合タクシー）の本格運行及び住民への利用啓発 ④ 市内横断シャトルバスの本格運行 ⑤ 東郷地域におけるデマンド交通の導入検討 ⑥ 地区コミ・デマンド運行モデル事業の推進 ⑦ 定期観光バス（ゆるっとバス）の運行コース等の見直し	○ ① 4月から南部循環線及び祁答院バスの路線延長、北部循環線の運行日変更、ゆうゆうバスのバス停の追加を実施 ○ ② コミュニティバスの民営化（4月1日） ・運行実績（4～9月） 31,016人 （対前年同月比61%増） ・甌ふれあいバス（江石線）の運行路線変更（6月1日） △ ③ 高齢者サロン等で「出前講座」を4回実施 ・参加住民80人 ○ ④ 樋脇・入来コースの路線を「いこいの村いむた池」まで延長（7月1日） ○ ⑤ 東郷地域デマンド交通運行業務委託（指名型プロポーザル方式）の企画提案書募集（9月18日） ・各地区コミ、自治会長へ制度内容の説明会を実施 7～9月（5地区×2回） △ ⑥ 「あさひデマンドタクシー」を運行している平佐東地区コミと運行見		
--	--	---	--	--	--

部 局 経 営 方 針

平成 2 4 年度

薩摩川内市

			○	直し協議を 5 月に実施 ⑦ 運行コース等の見直しを行い、新たに 1 日コースを設定し運行開始 (8 月 1 日) ・利用実績 4～7 月 91 人 8～9 月 74 人		
企業の立地促進 【企業・港振興課】	(1) 新設・増設企業 5 社以上 (2) 新規雇用者数 125 人以上	① 企業立地優遇制度の P R (HP の構築、インターネット広告など) ② 積極的かつ継続的な企業訪問の実施 ③ (仮称) 企業チャレンジセミナーの開催 ④ 小規模工業団地の整備 (東郷町狸ヶ宇都用地)	○ ○ ○ ○	① ホームページ構築委託発注 (9 月 11 日) ② 企業訪問 41 社 (県外) ③ 2 月開催に向け業務委託発注 (8 月 31 日) ④ 測量設計委託発注 (4 月 25 日) 工事着工 (12 月予定)		
川内港コンテナ航路の拡充 【企業・港振興課】	(1) 年間コンテナ取扱数 1 万 3 千 T E U 以上 ※ T E U = 20 フィートコンテナ換算本数 (2) 国際コンテナ航路週 2 便の安定的継続	① ポートセールスの実施 ② ポートセミナーの開催 ③ 新たな輸出品目の発掘 ④ 川内港を活用した貿易促進 ⑤ コンテナターミナル移設可能性調査の実施	○ ○ △ △ ○	① ポートセールス 135 社 ② 12 月開催予定 ③ 加工食品等の検討 (きんかん・祁答院漬等) ④ コンテナ補助 214 件 (コンテナ数: 789 個、補助金額 17, 750 千円) ⑤ 調査業務委託発注 (6 月 20 日)		
川内甕島航路の開設 【企業・港振興課】	(1) 公設民営による新高速船の建造 (2) 新高速船寄港地 (川内港、里	① 公募型プロポーザル (設計施工一括方式) 及び共有建造方式による新高速船建造の建造 ② 港湾整備に係る関係機関との協	○ ○	① 新高速船建造請負契約 (本契約) (9 月 12 日) ② 港湾計画変更手続き中。県による調査設計着		

部 局 経 営 方 針

平成 2 4 年度

薩摩川内市

	港、長浜港) の港湾整備 (3) 川内港待合所の整備	議、港湾計画の変更手続、浮棧橋等の調査・設計 ③ 川内港待合所の調査・設計	○ 手 ③ 実施設計着手 (8 月 30 日)		
友好都市等との交流 【企業・港振興課】	(1) 韓国昌寧郡との友好都市締結 (2) 中国常熟市との友好都市交流の実施 (3) 川内港臨時寄港事業の継続	① 薩摩川内市訪韓団の派遣、韓国昌寧郡来日団の受入、具体的交流方法の決定 ② 中国常熟市公式来日団の受入 ③ 蘇州号川内港臨時寄港による「中国の旅」実施	○ ① 訪韓団派遣 (5 月 16 日～5 月 18 日) ・友好都市締結 ・来日団受入 (9 月 21 日～9 月 23 日) ・平成 25 年度交流事業に向けた協議実施 △ ② 中国国内情勢悪化により 10 月予定を延期 × ③ 中国国内情勢悪化により中止		
薩摩川内市の知名度・好感度の向上 【観光・シティセールス課】	(1) シティセールスHP (こころ薩摩川内観光・特産品ガイド) の月間閲覧数 10 万 PV 以上	① トップセールスの実施 ② メディア、I T等を活用したPRや、エージェントへのプロモーション等の実施 ③ I T等を活用した特産品等の特別販売の実施	○ ① トップセールス ・ANA国内線機材ラッピング「ご当地プレーン」(6 月 7 日) 市長：羽田空港 ・関西かごしまファンデー(7 月 22 日) 副市長：京セラドーム ○ ② TV、新聞等で報道(延べ 140 回) さらにエージェント等(延べ 48 社) に対してのPR等、Web サイト「こころ」及びフェイスブックでの情報発信を実施		

部 局 経 営 方 針

平成24年度

薩摩川内市

			○ ③ Web サイトこころ観光・特産品ガイド「こころオンラインショップ」及びフェイスブック「F&B 良品薩摩川内」による特産品販売を実施		
観光客等の受入態勢の整備 【観光・シティセールス課】	(1) シティセールスサポーター登録者数 5千人以上	① シティセールスサポーターの拡大、サポーターに対する特典制度創設等の実施 ② 観光協会（NPO法人）の体制の強化	△ ① シティセールスサポーター登録 （4,235 個人・団体） ・会員向け特典制度スタート（市内128店舗協賛） ○ ② 観光協会に市職員派遣（4名）		
観光地としての魅力の更なる向上 【観光・シティセールス課】	(1) 年間延べ観光客数 270 万人以上 （(1)のうち宿泊客数 40 万 7 千人以上） （(1)のうち甕島への観光客数 6 万 6 千人以上）	① グリーンツーリズム・ブルーツーリズム、「きゃんぱく」など、着地型・体験型観光の推進 ② 市内を観光する旅行商品の造成・販売の促進 ③ 特産品等の開発及び販売の促進 ④ 観光船「かのこ」のPR等の実施	○ ① 体験型修学旅行等誘致 4 件 526 名 きゃんぱく夏旅実施 50 件 2,878 名 ○ ② 旅行商品造成支援（21 件） ○ ③ 開発商品 ・かっぱ一本 ・薩摩豚たん（さつまぶーたん） 販売促進 ・博多駅「くうてん」 （6 月 30 日～7 月 29 日） ・大丸、伊勢丹 （8 月 22 日～9 月 24 日） ・鹿児島山形屋 （9 月 19 日～25 日）		

部 局 経 営 方 針

平成 2 4 年 度

薩摩川内市

			○ ④「かのこ」のチラシを作成しPR等を実施 (5,000部) 乗船実績(4～9月) 2,002人		
観光関連産業の自律的かつ持続的な発展に向けた基盤の整備 【観光・シティセールス課】	(1) セミナー受講者 325人以上 (2) 開発商品(観光・物産) 5商品以上 (3) 観光・物産に係る販売商品の年間原材料費2千万円以上、売上1億円以上を目指す商品開発	① 観光分野における人材育成・雇用創出と、地域経済の活性化を図るシティセールス雇用創造事業の推進	○ ① セミナー 10件 参加者 31社 127人 ② 開発商品: 18品目		
⑦年度中間総括	○一部に中止、遅延している業務があるが、概ね順調に推移している。 ○下半期における目標達成に努める。				
⑨年度末総括					